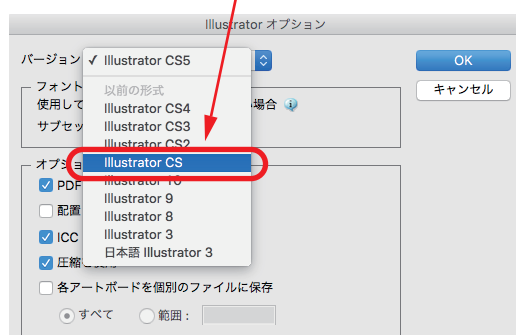


# ダイレクトプリント版下データ作成ルール

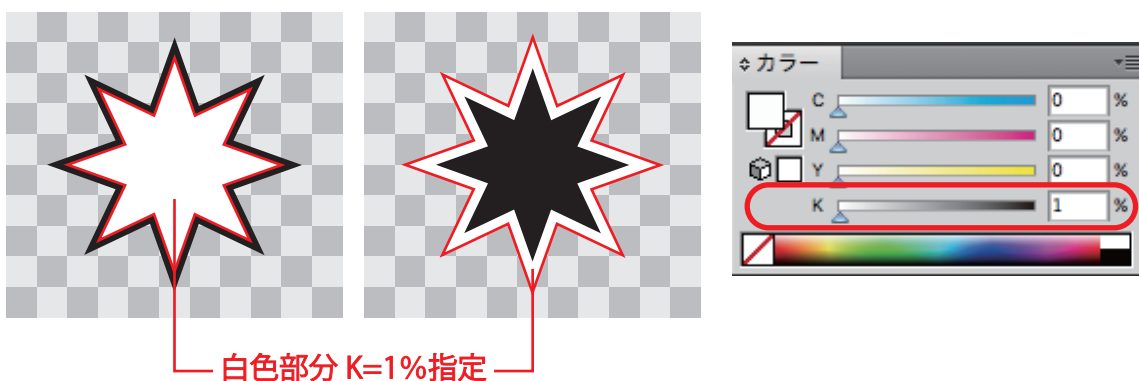
## 基本カラーデータ作成

- ・ カラー設定はCMYKで作成して下さい。
- ・ 文字は全てアウトライン化をして下さい。
- ・ 名入れ範囲図の外形線はそのまま残してご使用下さい。新規にカラーデータのレイヤーを作成して下さい。
- ・ ガイド枠の内側が基本印刷可能範囲です。文字内容は必ずガイド枠内に収めて下さい。  
全面印刷をご希望の場合は、塗り足し（**外形の外側3mm**）の作成が必要です。（別紙参照）
- ・ イラストレーターのパージョンは、**バージョンCS1**に下げてご入稿をお願い致します。



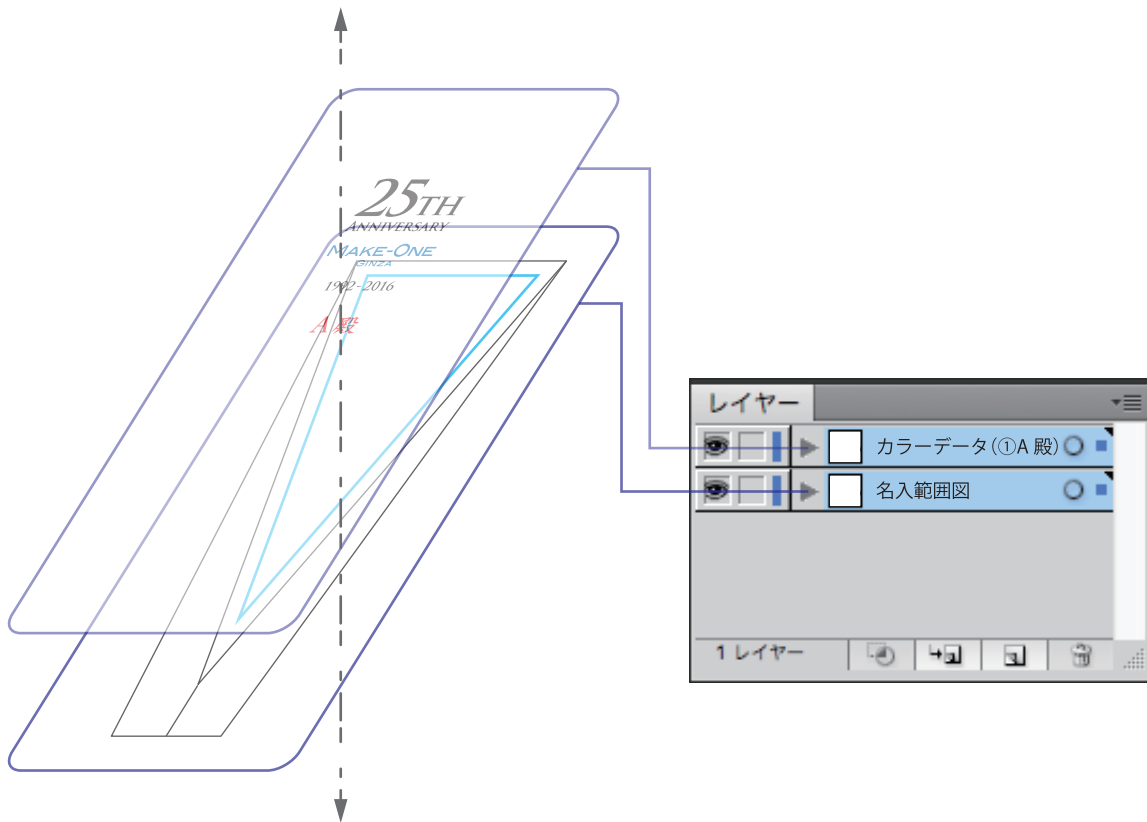
## 白色を印刷したい場合

- ・ 白色の印刷をご希望の場合は、**K=1%**の色指定でデータを作成して下さい。



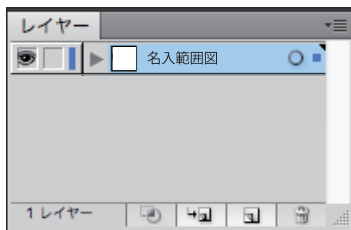
# カラーデータの作成

- 名入れ範囲図の外形線はそのまま残してご使用下さい。新規にカラーデータのレイヤーを作成して下さい。
- 名入れ範囲図の外形線とガイドは消さない様にご注意下さい。
- ガイド枠の内側が基本印刷可能範囲です。文字内容は必ずガイド枠内に収めて下さい。

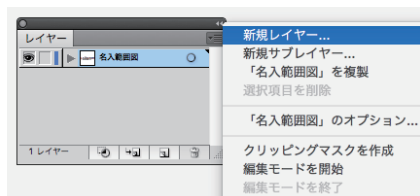


## [新規レイヤーの作り方]

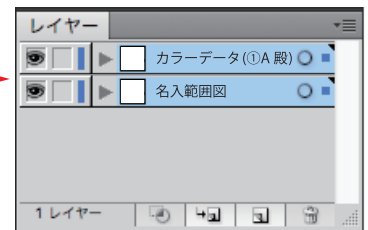
1.名入範囲図レイヤーから新規レイヤーを作る



2.レイヤーのオプションより新規レイヤーを選択

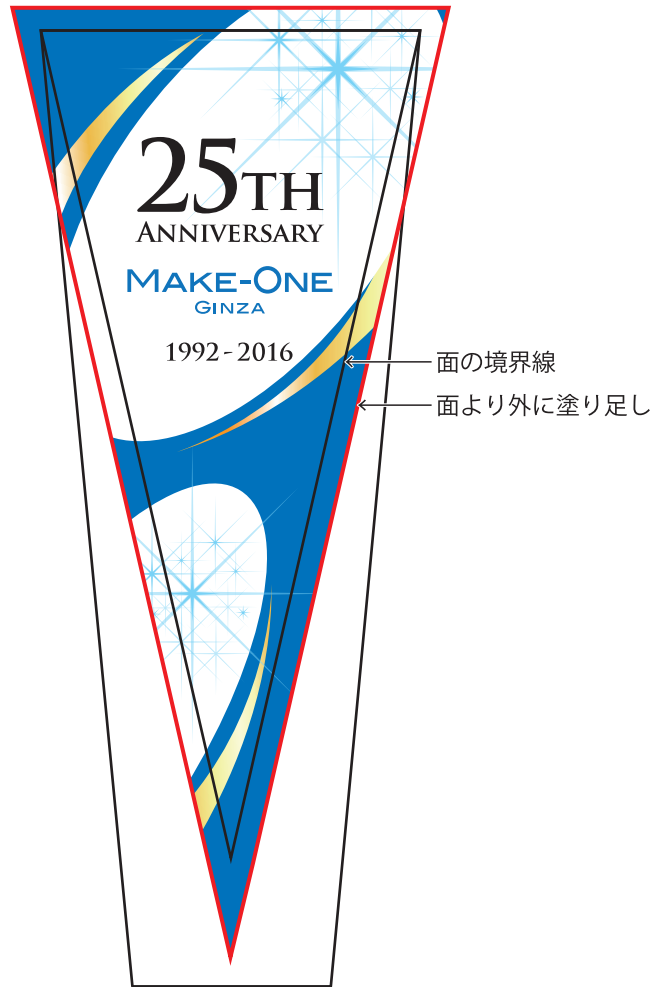


3.新規作成したレイヤーにカラーデータと名前を付ける



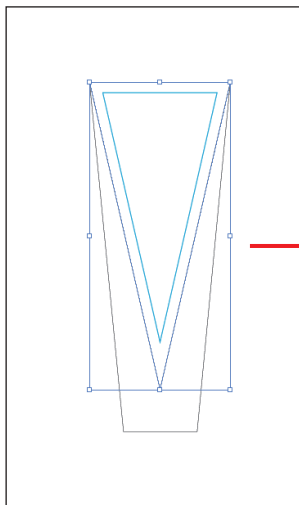
# 全面印刷をしたい場合

- きわまで印刷をご希望される場合は、塗り足し「**外形の外側へ3mm**」の作成が必要です。

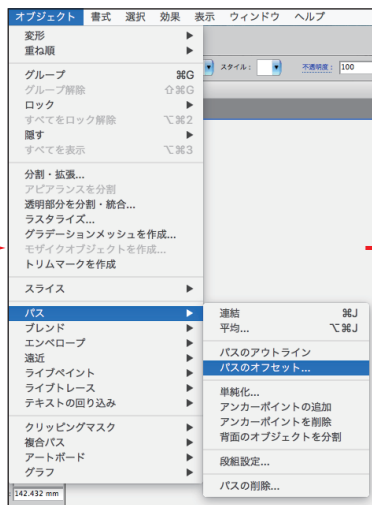


## [塗り足し範囲の作り方]

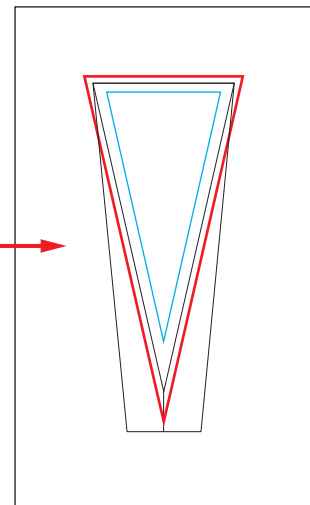
1.外形線を選択



2.パスのオフセットで外形線を「3mm」大きくして下さい。

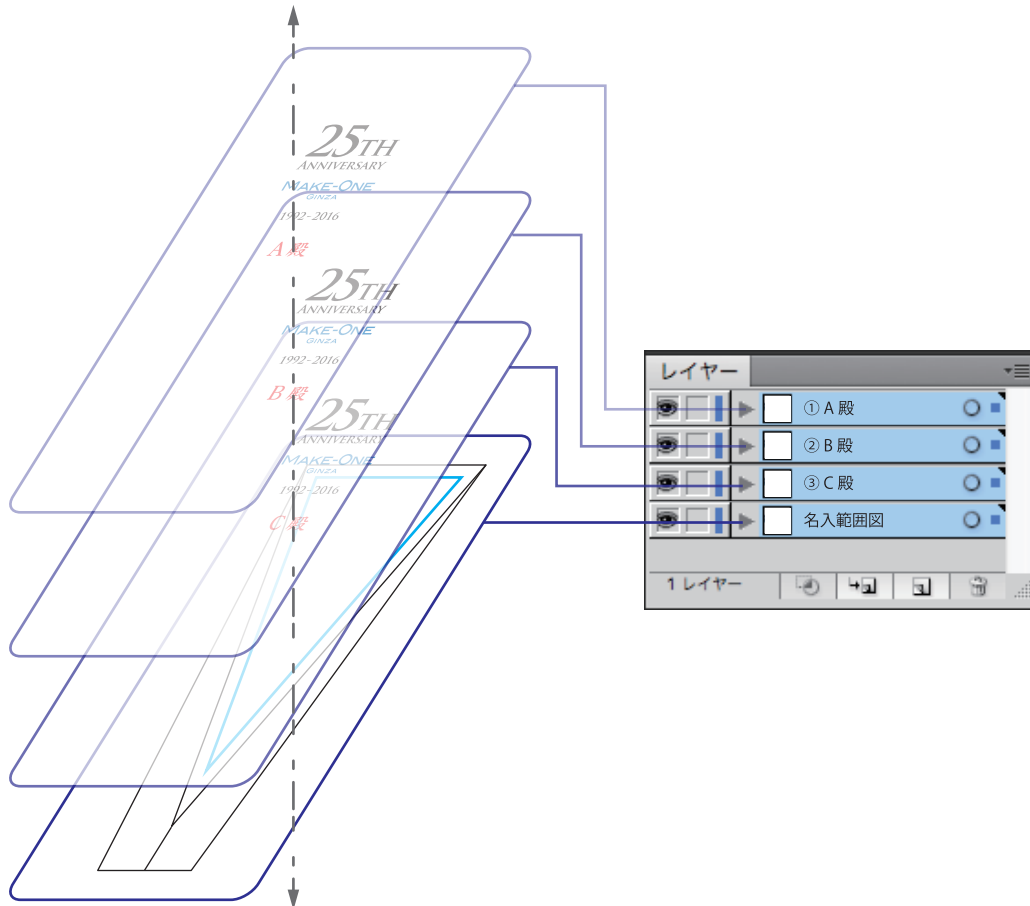


3. 「3mm」大きくした範囲の中に、レイアウトをして下さい。



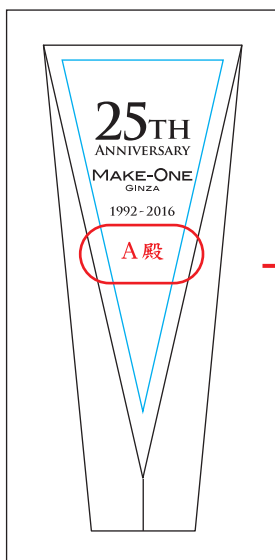
## 名前差替えがある場合

- 製品の品番ごとにデザインの種類分の版下デザインを**レイヤー別**に分けて作成してください。  
(例：3点製作・3点とも差替え箇所がある場合、3つのレイヤーに分けて作成して下さい。)  
\* 「名入れ範囲図」レイヤーは上記とは別に付けてください。
- データは全て**同じ位置に重なる様**に作成して下さい。
- 文字内容は必ずガイド枠内に収めてください。

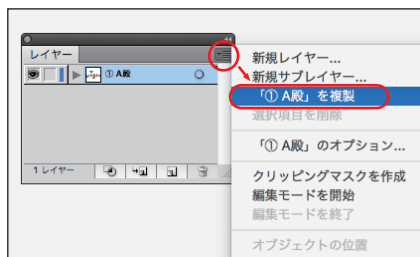


### 【差替え部分のデータ作成方法について】

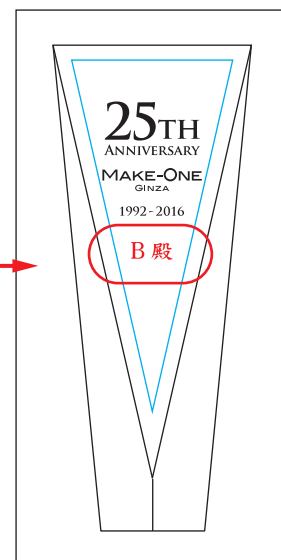
1. ベースデザインを1つ作成



2. レイヤーのサブメニューより「複製」を選択してレイヤーをコピーして下さい。

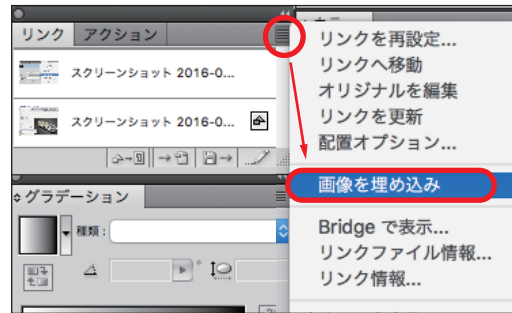


3. 複製したレイヤーにて差替え部分を変更



## 版下原稿に画像データがある場合

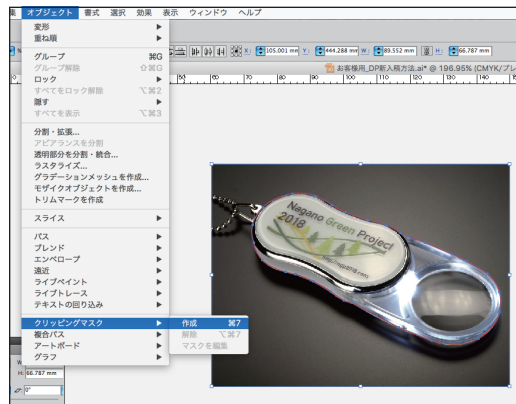
- 画像の印刷をご希望の場合は、フォトショップで画像の部分を切り抜き作業を行ってください。
- 切り抜き作業後の保存形式は、PSD形式・TIFF形式・PNG形式・GIF形式のいずれかで保存後に、イラストレーター上に配置して下さい。
- イラストレーター上で必ず埋め込みをして下さい。



### 注意

- イラストレーター上でクリッピングマスク機能を使った切り抜きは使用しないで下さい。

**NG** イラストレーターでのクリッピングマスク



[必ずフォトショップで切り抜いた画像データをイラストレーター上に配置して下さい]

元画像



フォトショップで切り抜きをして下さい。



イラストレーター上で配置して下さい。

